

総社市次世代育成支援行動計画 パブリックコメントの結果

1 パブリックコメントの実施方法

総社市次世代育成支援行動計画の策定に当たって、計画（素案）についての市民等の意見を募集し、お寄せいただいたご意見やご提言を、実効性の高い計画策定に活かすため、パブリックコメントを実施しました。

◆計画（素案）の公表の方法

総社市のホームページに計画（素案）を掲載するとともに、総社市役所（こども課）、山手支所、清音支所、北出張所、西出張所及び昭和出張所で縦覧に供しました。

◆意見募集の期間

平成 22 年 2 月 22 日（月）～平成 22 年 3 月 12 日（金）

◆意見の提出方法

所定の様式又は任意の様式（いずれも可）で、住所、氏名、意見本文、連絡先を記載し、持参、郵送、ファクシミリ、電子メール、ホームページ上からの送付のいずれかで、総社市こども課へ提出。

2 提出された意見の概要及びそれに対する総社市の見解

意見は、市内在住の 4 名の方から提出されました。述べられた意見の概要と、それらに対する総社市の見解は次のとおりです。

番号	ご質問・ご意見等の概要	総社市の見解
1	<p>保育園入園基準の統一</p> <p>待機児童増加の一因に保育園入所の不必要な子どもも入園していることが考えられるのではないかと。産休から育児休暇になった時なども、待機児童も多いため一度やめればもういつ入園できるか分からない現状のため、市の職員などは厳しく制限されているようであるが、それ以外は第二子以降（生後 2 ヶ月以降）を連れて、子どもが集まる場所などで上の子は保育園にいつているという方にたびたび出会い驚く。待機児童が多いなか保育園入園の判定をきちんと統一すべきだと感じる。厳しいかもしれないが、そうすることで本当に入園が必要な家庭が入園できるのではないかと。岡山市内もすでに産休後はすぐに通園できなくなり、一時保育や幼稚園で対応しているようである。</p>	<p>保育園の入園基準は、既に統一した基準を設けています。</p> <p>待機児童については、計画に記載のとおり、保育園の増設等により、解消に努めていきます。</p>
2	<p>市内幼稚園保育園制服の統一</p> <p>幼稚園保育園の行き来をやすくするためや、子どもの乳・幼児期に家を建てるなど市内で引っ越し例も多いと思うので市内公立幼稚園保育園の制服を統一すればどうか。保育園幼稚園へ変更時の経済的な負担も軽減し行き来しやすくなると思う。（せめて 3 歳児以上だけでも）今現在でも園の特色というより似たような制服が多いと思う。</p>	<p>制服は各園の方針に沿って決められています。市としても、市内幼稚園保育園制服の統一は考えておりません。</p>

3	<p>預かり保育試行の評価について</p> <p>預かり保育について今回山手で試行されるということでとても期待しているが、今現在仕事を持っている母親は幼稚園に通園させていないと思うが今年度の評価はどのように行われるのか。来年度も継続していただきたい希望が強いので心配している。今現在山手幼稚園に通園中の保護者以外は知らないようなので、もっとその情報を広めてもらいたい。</p>	<p>幼稚園の預かり保育は、既に事業として取り組むこととしています。</p> <p>制度の広報も含めて、計画に記載のとおり、重点的に取り組んでいきます。</p>
4	<p>幼稚園給食の導入</p> <p>学校教育課には先日意見を伝えさせていただいたが、幼稚園の給食に向けても考えてもらいたい。お弁当の目的やいい面も理解できるが幼稚園給食へのニーズは高まっていると感じる。給食による食育、成長著しい時期の栄養面など子育て支援の一環として幼稚園給食も市の方針として今後検討していただきたい。</p>	<p>弁当保育は、幼稚園教育の一部と考え、大切にしています。市としては、幼稚園給食の導入は考えておりません。</p>